

Weekly Pictures

研究室の写真です。
普段の実験の様子から、みんなでイベントを楽しんでいる様子まで、
研究室の雰囲気が伝わるような写真を載せていきます。

今週のWeekly Picturesは3月27日から29日の3日間にわたって行われた日本畜産学会の様子をお送りします。



26日に札幌を出た私たちは、千葉県にある出光興産の中央研究所を見学させて頂きました。
こちらの建物は敷地内にある食堂です！眺めが最高ですね！



こちらは、M2の奥平さんが出光興産アグリバイオ事業部と共同研究を行っている「MEL」を製造しているところです。
MELとは、微生物が産生する界面活性剤の一種で、抗生物質代替物としての可能性を探っています。



こちらはカシューナッツの殻です。
この殻から抽出した油もMEL同様、共同研究を行っています。今回の学会ではこれらの共同研究の結果を報告する大舞台でした。



アグリバイオ事業部の方々と記念に一枚。
見学させていただきありがとうございました！



27日の朝、いよいよ学会当日です。
学会会場まではバスで移動。午前中に発表の鈴木さん、まだまだ緊張の色は見えません。先生方も楽しそう。



発表直前の鈴木さんです。
緊張してきた頃でしょうか・・・？



いよいよ発表です。
発表タイトルは「カシューナッツ殻油のルーメン内メタン低減およびプロピオン酸増強効果」です。



みこと「優秀発表賞」を受賞！おめでとうございます！



午後は渡部と奥平さんの発表がありました。会場かとても広く、下見に来たときと大抵緊張感が一気に高まりました。



夜は懇親会に参加しました。
お寿司やサンドイッチ、ロスボークなど、発表後の食事の味は格別でした！



懇親会での一枚。小池さん、ステキな笑顔です。



次の日は「ルーメン研究会」に参加。小林先生をはじめ、ルーメン専門の方たちの発表や活発な質疑応答に圧倒されました。



最終日の午後は、明治銅科(株)の水戸研究牧場の見学に行きました。北大卒業生の吉田さんの勤務地です。



牧場内を案内して頂きました。実験はall in all out形式なため、残念ながら牛は数頭しかいませんでした。



実験はこの建物で行います。ペンションのようでびっくり！



中の様子です。日当たりもよく、木の香りがして実験もはかどりそうです。う～ん、羨ましい・・・。



吉田さんと同期の奥平さん、吉田さんの仕事をしっかり写真に収めています。



見学後は牧場の方や畜草研の方々と焼肉をいただきました。外での食事は話も弾みます。研究牧場のみなさん、ありがとうございました！

今回のWeekly Picturesは、研究所の見学と学会の機子をお送りしましたが、いかがでしたか？学会に参加し、日々のゼミと勉強の大切さと、自分の発表に興味を持ってもらえる嬉しさを感じることができました。また、奥平さんの「畜産について考え、研究している方たちが沢山いること、その方たちと会う機会がもてたことが嬉しかった」という感想にも同感です。先生方、関係者の皆様、貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

では、次回のWeekly Picturesもお楽しみに。

(担当:渡部)

戻る

Weekly Pictures

研究室の写真です。
普段の実験の様子から、みんなでイベントを楽しんでいる様子まで、
研究室の雰囲気が伝わるような写真を載せていきます。

今週のWeekly Picturesでは3月25日に行われた卒業式の様子をお送りします。(謝恩会の様子も合わせてどうぞ)
当日は雪もすっかり溶け、春の日差しでまさに卒業式日和となりました。



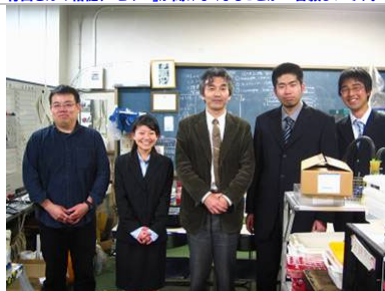
卒業の坂井君、内堀君、渡部さんと修了のMoeさん。
ミャンマーの民族衣装がとても素敵です！



修了の竹田さん
竹田さんの相槌、「せやっ」が聞けなくなることが一番寂しいです。



修了の鈴木さん
同じ飼料添加物チームの渡部さんと人工ルーメン(ルシテック)との貴重一枚です。



先生方との一枚
皆さん時々としたいいい笑顔ですね。



研究室のみんな。



今年も「義経」より差し入れを頂きました。
すでにお箸は入っていますが・・・笑
とても美味しかったです！ありがとうございました。



また在校生からのメニューは「水餃子」「焼き餃子」「揚げ餃子」と時勢に反して餃子三昧でした。3年生も手伝ってくれ、なかなか好評を頂くことができました。



ここからは研究室回りにいらした畜産学科の他研究室卒業生の様子を一部お届けします。まずは副生物科学の卒業生から



畜牧体系学

食肉科学



酪農食品科学

卒業、修了生の皆様、本当におめでとうございます。
進学する方、社会人となる方もますますのご活躍を願っております！！

謝恩会の様子

次回のWeekly Picturesもお楽しみに。

(担当:松井)

戻る

Weekly Pictures

研究室の写真です。
普段の実験の様子から、みんなでイベントを楽しんでいる様子まで、
研究室の雰囲気が伝わるような写真を載せていきます。

今週のWeekly Picturesは3月7日に行われた酪農学園の研究室との交流会の様子をお送りします。



2回目となるこの交流会。今回は江別にある酪農学園大学にお招きいただきました。



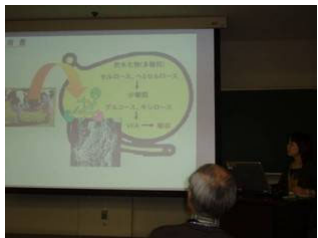
JR大森駅のすぐそばに位置する酪農学園大学。
3月上旬ということでまだ一面雪景色でしたが、当日は見事快晴！！



こちらが宮川先生の農業微生物学研究室。農業微生物ということで、もちろんルーメン内の細菌や原生動物についての研究もやっております。



少し写真が暗くて申し訳ないのですが、こちらの方が宮川先生です。今回の交流会はちょうど年度末ということもありお互いの研究室の学生たちの修士論文および卒業論文の合同発表というかたちで行われました。



ルーメン内の謎にせまるという同じテーマをあつかっているお互いの研究室ですが、着目している対照やアプローチの仕方、実験の手法などそれぞれに特徴もあり、お互い面白い刺激を受けることができたんじゃないかと思えます。



それぞれの発表の後には質疑応答の時間を設け、研究室の垣根を越えて活発に議論を行いました。外部の方の知識やアイデアなど自分たちだけではなかなか気付かないこともあり、こうした交流会の重要性をあらためて感じることができました。



発表会のあとは酪農学園のM2の久保田さんに農業微生物学の研究室をみせていただきました。



こちらは試薬棚。細菌を培養するための培地に必要な試薬などがきれいに整理されていました。



こちらの機械は嫌気チャンバーなるもの。酸素に弱いルーメン内の嫌気性細菌を扱う実験では重要な機械の一つです。



小池さんが持っているのは細菌の植え継ぎに使う白金線。実験器具の材質一つにしても話は尽きません。



その後はみんなで夜の交流会に行きました。今回の会場は酪農学園の近くにあるトンデン館で行いました。



酪農学園のOBの方がやっているお店らしく、ハムやソーセージなどおいしくいただきました。



最後にみんなでとった集合写真。みんないい顔で写ってますね！
違う大学同士でのこうした交流会は全国的にみてもなかなか珍しいとのこと。
せっかく大学が近くにありますし、同じテーマに取り組む者同士、今後も活発に交流を持ち、お互いに刺激あっていきたいですね！！この交流会も今後、第3回、第4回に期待です。

今週は第2回酪農学園大-北大交流会の様子をお送りしてきましたがいかがでしたか？
次回のWeekly Picturesもお楽しみに。

(担当:内堀)

[戻る](#)

Weekly Pictures

研究室の写真です。
普段の実験の様子から、みんなでイベントを楽しんでいる様子まで、
研究室の雰囲気が伝わるような写真を載せていきます。

今週のWeekly Picturesは2/22に行われた畜産科学科の合同卒業論文発表会の様子をお送りします。

今年の卒論発表は畜産科学科の3研究室合同で行われました。
家畜栄養学分野からは3人が発表。

内堀 寛之 さん
「グルコン酸およびメチオニアナログが単胃動物の腸内環境に及ぼす影響」

坂井 孝輔 さん
「新規ルーメン細菌B76株およびR-25株の機能解析」

渡部 優 さん
「モネンシン代替物質の探索:カシューナッツ殻油がルーメン発酵に及ぼす影響」

それでは発表の様子をどうぞ。



よく通る声で、聞き取りやすかったです。
練習の賜物ですね。

内堀 寛之 さん
「グルコン酸およびメチオニアナログが単胃動物の腸内環境に及ぼす影響」

ラットとブライヤーを対象にして、グルコン酸およびメチオニアナログをプレバイオティクスとして用い、腸内環境の改善を試みた研究です。
発表会ではラットの結果のみを出していました。

腸内菌叢や発酵産物についての分析が主なものでした。

★家畜栄養学研究室では、反芻家畜(ルーメン)に限らず、単胃動物の腸内菌叢も研究ターゲットにしています。



質問にも的確に答えていたと思います。



坂井 孝輔 さん
「新規ルーメン細菌B76株およびR-25株の機能解析」

ルーメンから分離した新規細菌の機能解析をおこなった研究です。

これら2株の新規細菌について、生態情報は以前の研究で既にいくらかわかっており、今回の研究は新たに生理情報を得ることを目的としたものです。

ルーメン細菌のなかでも、繊維分解性のものがその大部分を占めています。表題の2株はその中の細菌です。

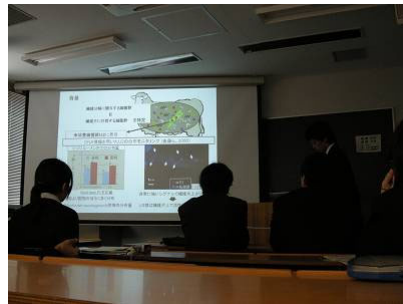
★「新しい細菌を分離して、で、こんな研究って何の役に立つの?」と疑問をもった人は、栄養の先輩に聞いてみましょう!



緊張気味のスタートでしたが、終始落ち着いて発表できていました。



なかなかこっちを向いてくれないサカイ。





発表練習で「緊張しますよー」とよく言ってましたが、発表会ではあまりそれは感じられず、落ち着いた良い発表だったと思います。

渡部 優 さん
「モネンシン代替物質の探索:カシューナッツ殻油がルーメン発酵に及ぼす影響」

カシューナッツ殻油とルーメン液を混ぜて、発酵パラメータを分析し(*in vitro*)、ルーメン発酵に及ぼす影響を評価した研究です。

モネンシンとは、家畜に与える代表的な抗生物質です。代謝障害予防に効果的である反面、抗生物質耐性菌の発生や、畜産物に対する消費者のイメージダウンが懸念されています。そこで、モネンシンの代わりになる天然物質が必要となるわけです。天然物だと安心ですね。

★鈴木君が修論で発表したテーマもカシューナッツ殻油でしたが、栄養以外の研究室の方々からも好評をいただきました。



お疲れさまでした。

1年間の成果はどうだったでしょうか？

4月から先輩になる人、そうでない人もいますが、それぞれの反省を生かして今後につなけてください。

次回のWeekly Picturesもお楽しみに。 (担当:たけだ)

[戻る](#)

Weekly Pictures

研究室の写真です。
普段の実験の様子から、みんなでイベントを楽しんでいる様子まで、
研究室の雰囲気が伝わるような写真を載せていきます。

今週のWeekly Picturesは2/12に行われた畜産科学科の合同修士論文発表会の様子をお送りします。

今年の修論発表も畜産科学科の6研究室合同で行われました。
それぞれが修士2年間での研究の成果をまとめて発表してくれました。

家畜栄養学分野からは3人が参加。3人の研究テーマは以下のとおり。

Moe Thida Htan さん

研究テーマは
「Study on isolation of novel fibrolytic bacterial-strains from sheep rumen by using a proper carbon source」

竹田 将悠規 さん

研究テーマは
「ルーメン内繊維片に付着する未知細菌の分離・培養化および生理機能評価」

鈴木 亮 さん

研究テーマは
「新規飼料添加物によるルーメン発酵の制御」

それでは当日の様子をどうぞ。

<発表前の様子>



発表を前にして畜産科学科の先生方も集まってきました。あのメンバーを前にして発表するのはどんなに緊張することか…



発表前の3人の様子。写真からでも直前のどろどろした感じが伝わってきます。



栄養のトップバツターのMoeさん。発表直前の緊張感が伝わってくる一枚。

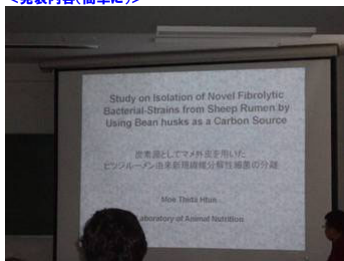


2番手の竹田さん。最終チェックに余念がありません。



栄養の最後を締める鈴木さん。発表前は鬼気迫る様子で前にまわることもできなかったので後ろからこっそり撮影。

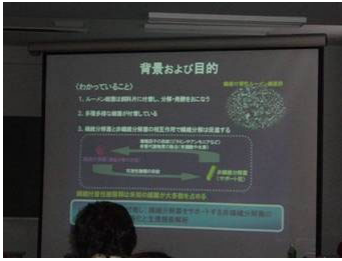
<発表内容(簡単に)>



Moeさんの研究テーマは

Study on isolation of novel fibrolytic bacterial-strains from sheep rumen by using a proper carbon source

反芻動物のルーメンの中での繊維(草)の消化は細菌が主役となって行っています。しかし、ルーメンの中の細菌を分離するのは大変難しく、ほとんどの細菌はルーメンの中で何をやっているのかよく分かっていません。そこでMoeさんは細菌を培養するときの方法を工夫することで繊維分解の主役である繊維分解菌を分離し、その機能を明らかにしました。



竹田さんの研究テーマは

ルーメン内繊維片に付着する未知細菌の分離・培養化および生理機能評価

竹田さんの研究もMoeさんの研究と同じくルーメン内の未知の細菌を分離・培養して機能を調べるというもの。しかし、

Moeさんが繊維分解菌に注目したのに対して竹田さんは非繊維分解菌に注目しました。というのもルーメン内での繊維分解は繊維分解菌と非繊維分解菌が協力して行っていると考えられているからです。竹田さんは自分が分離してきた非繊維分解菌を繊維分解菌と共培養することでどのくらい繊維分解が促進されるかといったことも明らかにしました。ちなみに未知の細菌を分離・培養した人はその細菌を命名することができますが竹田さんの細菌はMT～。

鈴木さんの研究テーマは

新規飼料添加物によるルーメン発酵の制御

反芻動物は細菌が繊維を分解した結果、生成するVFAをエネルギー源として生活しています。しかし細菌がVFAを生成する過程ではメタンもつくられてしまいます。メタンは動物がエネルギー源として利用できないだけでなく地球温暖化にも深く関わっているため、ルーメンの中の発酵を制御することは動物の発酵だけでなく環境問題においても重要なのです。鈴木さんの研究ではルーメン発酵を制御するために新たな飼料添加物に注目しました。そしてそれがVFA生成に関わる細菌とメタン生成に関わる細菌にどういった影響を与えるか、また実際に動物に給与したときの影響はどうかということを明らかにしました。

すいません、写真がありませんでした

<発表の様子>



栄養の学生はプレゼンテーションを行うときに原稿を読みません。頼りになるのは己の頭脳のみ。3人とも練習の成果を発揮してすばらしい発表を行ってくれました。



15分間の発表の後は質疑応答の時間が5分あります。修士の発表では先生方からも厳しい質問がです。ここでも普段のゼミでの鍛錬の成果がです。



3人とも無事、修論発表を終えました。4年生のときに家畜栄養学研究室に所属して3年、修士になってから2年の研究生活ももうすぐ終わりです。いなくなってしまうのは少しさびしい気もしますが、M2の先輩方はこれからもそれぞれの進路で活躍していけると思います。

本当にお疲れ様でした。

ここまで、今度は修論発表の様子をお送りしてきましたがいかがでしたか？次回のWeekly Picturesもお楽しみに。（担当：内堀）

戻る

Weekly Pictures

研究室の写真です。
普段の実験の様子から、みんなでイベントを楽しんでいる様子まで、
研究室内の雰囲気が伝わるような写真を載せていきます。

今週のWeekly Picturesは2/8に行われた畜産科学科進出コンパの様子をお届けいたします。
卒業、修了生の皆様、おめでとうございます！



会会は来年度から家畜栄養学研究室に仲間入りする鈴木君。



島崎先生より開会の挨拶があり、恒例の北大牛乳で乾杯をして宴が始まりました。



食肉科学研究室より手製のハムやソーセージが振舞われました♪
こういう時にも畜産物はありがたいですね。



意気投合中の卒業生坂井さんと3年生の設楽くん。



こちらが家畜栄養学研究室の卒業、修了生、おめでとうございます！
学校を離れる方は新天地に行っても頑張ってください。ご活躍をお祈りしております。



指導いただいた先生方や在校生に向けて
感謝の言葉を一言ずつ頂きました。
内堀君キマってます



来年度、栄養への配属が決まっている3年生よりプレゼントをいただきました。4月から一緒に頑張らしましょう！

～2次会～



2次会への待機中も研究室で一杯(笑)



2次会は「義経」で行われました。
参加者も多く、研究室の垣根を越えて大いに盛り上がり夜は更けていきました。

以上で今週のWeekly Picturesを終わります。
次回のWeekly Pictureではいよいよ修論・卒論発表会の様子をお届けします。
研究活動の集大成です。どうぞ楽しみに。

(担当:松井)

Weekly Pictures

研究室の写真です。
普段の実験の様子から、みんなでイベントを楽しんでいる様子まで、
研究室の雰囲気が伝わるような写真を載せていきます。

今週のWeekly Picturesは2007年最後のセミナーとその後の研究室忘年会の様子をお送りします。

<セミナーの様子>

内容は
①経過報告(Asch、上木さん)
②院生ゼミ(松井さん)

それぞれの発表内容にも少しふれつつ、当日の様子をお送りしていきます。



今回のセミナーは今年最後ということで普段とは場所を変え札幌市内某ビルの30階の小会議室で行われました。



セミナー開始は午後3時。12月の札幌といえども外はまだこんなに明るい。時間の経過とともに変わっていく外の景色もお楽しみください。



まずはAsch(M1)の経過報告から。研究テーマは

Quantitative Analysis of the structure of rumen microbiota associated with fiber

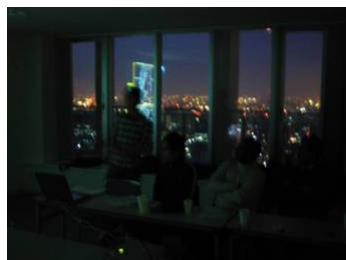
ウシやヒツジといった反芻動物はルーメンと呼ばれる第一胃、二胃の中に多種多様な微生物を保有することで植物を消化して暮らしておりその機能はまさに神秘。「ルーメンは宇宙だ」という研究者の方もいるほど。その機能を明らかにするには「①何が②どのくらい③どんな働きをしているか」を知る必要があります。Aschは特定の細菌に着目して、DNAを用いた分子生物学的手法を駆使しその細菌がルーメンの中にどのくらいいるのか？といった研究をしています。



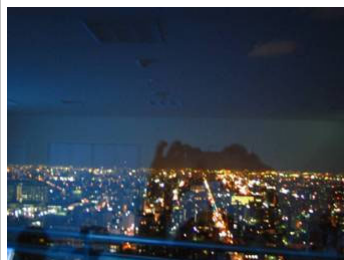
続いては上木さん(M2)の経過報告。研究テーマは

Fibrobacter succinogenes を中心としたルーメン内繊維分解コンソーシアムに関する生態学的研究

上で述べたようにルーメンの中には多種多様な細菌がいますがそれらは単独で生きているわけではなくお互いに協力して協調的に繊維分解をおこなっていると考えられており、そのグループを繊維分解コンソーシアムといいます。*F. succinogenes* はルーメンの中で代表的な繊維分解菌なのですが上木さんはどの菌が *F. succinogenes* とコンソーシアムを形成する菌で、それらが協力することでどのくらい繊維分解の能力が向上するか？ということについて研究しています。



上木さんが経過報告を始めた時点で薄暗くなってきた札幌の空。冬の夜はすぐに暗くなります。あっという間に暗くなり街には明かりが灯っていきます。



上木さんの経過報告が終わった時点でちよつと休憩。地上30階からの札幌の夜景をどうぞ！写真奥が北で北大の建物もはしのほうにちよつとだけ写っています。

2007年のセミナーの最後を締めるのは松井さん(M1)の院生ゼミ。院生が年に一回、自分の研究テーマに沿った論文をいくつか読み世界での現在の研究状況や今後の自分の研究の方向性などについて紹介してくれます。今回の松井さんのセミナーのタイトルは

Prevotella 属細菌の多様性について
～系統・機能・生態～

松井さんの研究テーマは「未培養細菌の単離、及び生理機能解析」。ルーメンの中にそのグループがいることは分かっているものの単離されておらず、どんな機能を持っているか分からない細菌を単離してきて機能解析をしようという研究です。今回



は現在松井さんが注目している *Prevotella* 属細菌について DNA情報をもとにした多様性や、ルーメン以外にどんなところから見つかってきているか、どんな機能を持っているかということについて話してくれました。



夜景をバックに話す松井さん。カッコいいですねー。
写真がプレブレで申し訳ないですm(_ _)m



今回で2007年の経過報告、文献紹介、院生・教官ゼミはすべて終了です。栄養のゼミでは面白い質問・意見でヘコムことも時々ありますがそういったことの積み重ねでみんな日々レベルアップしているはず。特に小林教授、小池助教のお二人には日ごろから研究についてのアドバイスなど本当にお世話になりました。

セミナーはこの日で終わりましたが、これから年が明けるとM2は修論発表、M1は学会発表、4年生は卒論発表に向けてそれぞれいっそう忙しくなっていくことでしょう。

[忘年会の様子も見る](#)

[戻る](#)

Weekly Pictures

研究室の写真です。
普段の実験の様子から、みんなでイベントを楽しんでいる様子まで、
研究室の雰囲気が伝わるような写真を載せていきます。

今週のWeekly Picturesはイリノイ大学のCann准教授が来訪されたときの様子をお送りします。
Cann先生と栄養の教授である小林先生との付き合いは長く、小林先生が三重大学にいらした頃の教え子の一人とのこと。
今回は来日されたまたとないチャンスに北大でもセミナーをやっていたきました。



こちらがCann先生(右)。栄養研究室の小池先生は北大に赴任される前にイリノイ大に留学しており、Cann先生のもとで研究されていました。こちらも旧知の仲といった感じ。



今回はなかなか貴重な機会なのでもちろん栄養の学生も参加してもらいました。小池先生「いいか、坂井。しっかり聞いておくんぞ！」



今回のセミナーのタイトルは
Biochemical and structural analyses of hemicellulose
degrading enzymes from the rumen anaerobe *Prevotella
ruminicola*
ルーメン由来の細菌が保有する繊維分解酵素についての最新の研究結果を熱く語っていただきました。



もちろん英語のセミナーだったのですが、Cann先生も分かりやすく丁寧に話してくれましたし、途中で小林先生の解説もあったので僕も何とかついていくことができました。



家畜栄養の研究室でも長年植物繊維を分解する細菌についての研究を行っています。普段接している研究の切り口とはまた異なるやりかたで、とても面白かったです。それとともに繊維分解の重要性をあらためて認識できて大変貴重な経験ができたというふう感じました。



質問タイムでは教え子の小池先生と熱く議論を交わすといった場面もありました。



セミナー後はCann先生と家畜栄養のメンバーでの懇親会を行いました。



せっかくの機会ということで、学生も積極的にCann先生との会話に参加していました。



Cann先生は日本に留学していた期間も長く、日本語もかなりの腕前。でもせっかくの国際交流の機会なのでみんなできるだけ英語で…

研究についての話から、先生が日本にいた頃の昔話まで、小林先生からもいろんな話がとびだしたり。



その後も場所を移して遅くまで語り明かしました。こちらはCann先生と小林先生の2ショット。うーん、すごい写真です。

今週のWeekly Picturesはイリノイ大のCann先生が来訪されたときの様子をお送りしましたがいかがだったでしょうか。

今回はセミナーも懇親会も本当に貴重な体験ができました。Cann先生、そしてこの機会を設けてくれた小林先生にこの場を借りてもう一度感謝です。ありがとうございました！！

以上で今週のWeekly Picturesを終わります。
次回のWeekly Pictureもお楽しみに。

(担当:内堀)

Weekly Pictures

研究室の写真です。
普段の実験の様子から、みんなでイベントを楽しんでいる様子まで、
研究室の雰囲気が伝わるような写真を載せていきます。

『The 6th Joint Rumen Symposium of China-Korea-Japan on Rumen Metabolism and Physiology』

長い間お待たせしました。久しぶりの Weekly Pictures 更新です。
今回は、9月12-14日に中国は杭州の浙江大学で開催された
第六回ジョイントルーメンシンポジウムに参加してきたのでその写真を紹介します。
今回、栄養から参加したのは、小林先生、小池先生、上木、鈴木、竹田の5名です。



M2の3人は先生方とは別行動で杭州を目指しました。
これは行きの成田空港で飛行機を待っている所です。
移動が多くてかなり参っている様子。



なんとか無事に中国に渡りホテルに到着。
ご飯を食べようとお店はほとんどしまっており、
今日のところはおとなしく就寝。



翌日、朝早くから電車に乗って杭州へ。
駅を一步でたら日差しがかなり強く、
北海道に比べたいぶ暑かったです。



駅からタクシーに乗って浙江大学へ。
とりあえず正門前で記念撮影。



構内の様子です。
門をくぐると目の前にこの大きな道がずっと続いていて、
北大のメインストリートと同じような印象を受けました。



こちらは今回の学会の会場兼ホテルとなっている建物です。
基本的に学会開催中はずっとここで過ごしました。



学会場の写真その①
スライドを映す大スクリーン。
演者の台はスクリーンの右横のほうです。



学会場の写真その②
全体はこんな感じです。
結構大きめの部屋で、200人くらいは入りそうでした。



初日は開会式のあと数題発表があるのですが、
なんと鈴木くんは4番目の発表。
本番を前に緊張している様子です。



いざ本番。
しかし練習の甲斐あってか発表はとてもスムーズ！
本人の感想は、質問の英語が聞き取れなくて焦ったとの事



プログラムの終了後、学会初日ということで Welcome reception が催されました。これは僕と竹田くん、そして浙江大学の学生の皆さんです。今回彼らはホスト国ということで、運営はもちろん こういったパーティーの場でも僕らを楽しませようと とても丁寧な対応をしてくれました。



こちらは鈴木くん。発表ももう終わって気分が高くなったのか、なにやら女性たちに囲まれて照れているようです。いつのまにこんな・・・



場面は変わって、こちらは学会2日目の様子です。これは僕が発表している写真ですが、今回スライドのフォントがズレるというミスをやらかしてしまい、少し頭がバクってしまいました。せつかくの発表の機会なのにすごくもったいなかったです。



こちらは竹田くんの発表写真です。画面左の据え置きマイクは位置が低かったのですが、代わりのマイクを渡され背筋も伸びて自身ありげな様子です。質疑についても不完全ながらもしっかりと受け答える様子は僕から見ても立派なものでした。



こちらは卒業最後の発表者の小池先生です。やはり僕ら学生とは違い英語がとてもキレイで、特に質疑応答ではネイティブスピーカーに対してもスムーズに受け答えていて素晴らしい発表でした。



小林先生は今回発表のほうは無かったのですが、途中、座長を務められました。もうひとりの方は中国の Zhiliang Tan という方です。



同じく小池先生も座長を務められました。もうひとりの方は、Zhanming Shen という方です。



午前と午後のプログラムの間はランチタイムです。この食事は基本ハイキングスタイルで、普段食べるものからちょっと変わったものまで色々な中華料理が振舞われました。



ここで卒業以外の日本人の学生を紹介します。こちらは明治大学の浅沼先生の研究室に所属している金田くんです。まだ4年生とのことですが、しっかりと英語での発表をこなしていました。



今学会では4人のInvited speakers を招いての招待講演もありました。こちらはイギリスのJohn Wallaceさんの講演写真です。



3日間に渡る全てのプログラムが終了し、閉会式が執り行われました。日中韓の代表者の方々がそれぞれ今大会の講評や次回に向けての意気込みなどをお話されました。日本の代表は小林先生です。



最後に今大会のホスト国である中国の Liu 先生の方から閉会の言葉があり、無事に学会は幕を閉じました。発表など色々ありましたが非常に貴重な3日間でした！



学会が終わればその後はもちろん懇親会です。



もうすっかり意気投合して、英語の壁もなんのその。あとやはりどの国でも学生は馬鹿みたいに飲むのは変わりませんでした。



途中、各国のグループごとにさまざまな出し物が催されました。これは韓国グループによるアリランの大会です。



一方こちらはInvited speakersによる合唄。アメリカ民謡のような唄でしたが、ちょっと歌詞の紙を紛失してしまい名前を忘れてしまいました。しかしこのMcSweenyさん、ノリノリである。



こちらは我が日本グループの学生による出し物です。竹田くんと明治大の吉澤くんが空手とたい道を披露！事前に念入りに打ち合わせをしただけのことはありなかなかの迫力でした。



そしてこちらは中国の学生による社交ダンスです。途中、明治大の浅沼先生が飛び入りで参加！しかしこの浅沼先生、ノリノリである。



小林先生と韓国のHa先生とのツーショットです。Ha先生は以前にも栄養研究室にいらしゃったこともありおふたりはまさに旧知の仲といった感じです。



こちらはM2の3人と、中国のLiu先生、そしてその学生のLee君です。この付き合いがずっと続いて僕達も左の写真のお二人のような感じになれば良いと思いますね。



翌日最終日はExcursionとして杭州のさまざまな名所をみて回りました。これはそのひとつ、とあるお寺(また名前忘れましたスミマセン(。_。))に行ったときにとった写真です。日中韓の学生達(と近くにいた子供ひとり)みんなで記念撮影。国は違えども同じ人間同士。今回のことで、言葉の違いなんて本当に些細なことだと思われました。

今回の参加で、各国の研究について学ぶことができたり、外国の学生と触れ合う機会が得られたことは本当に貴重な体験だったと思います。次回大会は2009年に韓国で開催されるそうなので、後輩の皆さんは是非とも参加してこの国際学会の魅力というものを体験して欲しいと思います。

それでは今日はこのへんで失礼します。また次回のWeekly Picturesをお楽しみに！

担当:上木

[BACK](#)

[TOP](#)

Weekly Pictures

研究室の写真です。
普段の実験の様子から、みんなでイベントを楽しんでいる様子まで、
研究室の雰囲気を感じるような写真を載せていきます。

今週の Weekly Pictures は8/25に行われました、サッポロビール園での家畜栄養学研究室の
パークゴルフの様子をお送りします。
なおすべてのメンバーが写っているわけではありません。残念。



パークゴルフの前の、工場見学。見学後には20分の試飲タイム。この後大丈夫？



すでにお土産の見定め。



湖のほとりて和気藹々と。天気もちょうどいい感じ。絶好のスポーツ日和です。

試合開始





各人のショット前/後の写真。様々な表情が浮かびます。



最初は感覚がつかめなくて一苦労。



ゲームの合間の一こま



ゲームの終盤の大切な一打。決まるか！？

結果発表



3位の小池先生。満面の笑みです。



2位の鈴木さん。嬉しさの裏に悔しさか？

そして堂々の第一位は



われらが研究室の教授、小林先生でした。おめでとうございます。



フービー賞は松井さんでした。



というわけで、今回はパークゴルフの様子をお届けしましたがいかがでしたか？
撮影者もゲームに夢中になっていたため中々写真が取れず、申し訳ないです。
色々とアクシデントがありましたが、皆さん十分に楽しんでいました。

次回の更新もお楽しみに。
それではまた会う日まで

担当：坂井

Weekly Pictures

研究室の写真です。

普段の実験の様子から、みんなでイベントを楽しんでいる様子まで、
研究室の雰囲気が伝わるような写真を載せていきます。

こんにちは。Weekly Picturesの更新を日々楽しみにしていらっしゃる方々お待たせしました。
ひさしぶりのWeekly Picturesです。今回は7/13に行われた畜産科学科ソフトボール大会の様子をお送りします。



昨年はみごと優勝した家畜
栄養学チーム。去年とはメン
バーも入れ替わり、今年はこの
メンバーで優勝を目指しま
す。

それではまず予選の様子から



初戦の相手は昨年と同じく副生。



決勝トーナメント進出をかけて負けられない戦いが始まります。



1番・サード 竹田さん。
高めのボール球も…



Hit! 塁上でこのポーズです。



2番・セカンド 上木さん。
竹田さんに続きます。



3番・ショート 小池先生。
豪快なバッティングと堅い守備で榮譽を引っ張ります。



小林先生もこのスイング。
まだまだ学生には負けません。



栄養の先発は渡部さん。
華麗なく？)ヒッチングで相手を抑えます。



球を受けるキャッチャーは坂井くん。
声を出してみんなを盛りたてます。「しまってごー!!」



リードして終盤を迎えた栄養はリリーフエース奥平さんを投入。

そのまま逃げ切り、まずは初戦を白星でかざり、トーナメント進出に一步近づきました。



栄養の2戦目以降は午後から。
その間に、みんなでスイカを食べて初戦の疲れを癒したり…



バレーボールで遊んでリラックスしたり、
それぞれの方法で次の試合に備えます。



試合が近づいてくると気合が入ります。
空いているスペースを利用してみんなで練習。
ソフト初体験のアツクも豪快なスイングで試合での活躍を予感させます。



怪我の影響でプレー時間が限られる松井さんも準備は怠りません。
後ろでずーさんも心配そう。



予選2戦目の相手は2年生。今年の2年生は多くの経験者を擁し、
優勝を狙うと例年になく気合が入っているとのこと。



今年が最後の大会になる山野さん。例年、大黒柱として豪打でチームを引っ張ります。

しかし、2年生には黒星を喫してしまい、これで予選1勝1敗。



1勝1敗で迎えた予選3戦目。決勝トーナメント進出をかけた大一番です。



この試合は順調に得点を重ね、見事勝利。

予選を2勝1敗で終え、今年も無事決勝進出を果たしました。



決勝トーナメント一回戦・準決勝の相手は去年決勝で対戦した食品。



決勝進出をかけた負けられない一戦。



ここまで栄養のリーディングヒッターとしてチームを引っ張ってきた奥平さん。



この試合、善戦するも食品の前に敗れてしまい栄養の2連覇の夢はここで断たれてしまいました。

その後、3年生との3位決定戦にも敗れ、栄養は4位で今年のソフトボール大会を終えました。

一方、決勝は栄養に準決勝で栄養に勝った食品と2年生の対戦となりました。試合はなんと2年生が勝利し見事優勝しました。畜産のソフトボール大会で2年生が優勝したのは初めてではないかとのこと。

優勝おめでとうございます！

来年は3年生として再び同じメンバーで出場してくるこのチーム。来年は負けられません。



ソフトボール大会のあとは恒例のジンバ。

ソフトボール大会とジンバ、企画から後片付けまで3年生は本当にお疲れ様でした！



今年は4位という結果に終わりましたが、来年はまた優勝目指して頑張らしましょう！

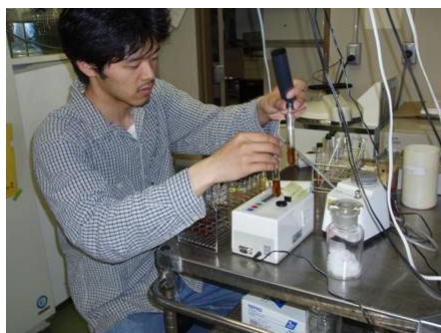
ということで今週のWeekly Picturesは7月に行われた畜産ソフトボール大会の様子をお送りしました。いかがでしたか？
それではまた。

(担当:内堀)

Weekly Pictures

研究室の写真です。
普段の実験の様子から、みんなでイベントを楽しんでいる様子まで、
研究室の雰囲気が伝わるような写真を載せていきます。

こんにちは。今週の Weekly Pictures は、家畜栄養学研究室微生物チームの日常をお送りしたいと思います。



まず始めにOD測定中の4年生、坂井君。
これによってバクテリアの増殖を確認したり、増殖曲線を作成したりします。



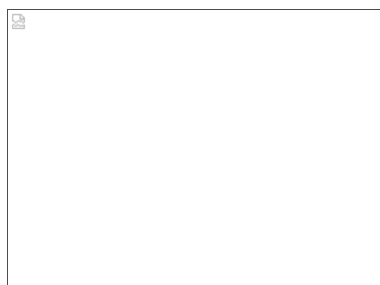
ロールチューブを作成するM1、松井。
細菌の単離には欠かせない作業です。
今回は抗生物質添加によるコロニー数の変化を調べています。



作成した培地をハンゲートチューブに分注するM2、Moeさん。
ルーメン環境を再現するために、培養はすべて嫌氣的条件下で行われます。
また培養する細菌によって様々な基質(栄養源)を用います。



酵素活性測定準備中のM2、竹田さん。
菌体抽出液と反応基質を混合しているところです。
震動感あふれますね。



微生物チームを統括する小池先生。
シーケンスの準備中でございます。
研究の方針やセミの準備などについて日々アドバイスをいただいています。



M1 Aschさん



M2 Moeさん



4年 坂井君



M2 竹田さん

3週に一度の経過報告会!

ここでは研究の背景や日々の実験の成果を報告します。

時に? 面白い質問も飛び出しますが自分の研究を見つめなおす良い機会。

以上で今週のWeekly Picturesを終わりますが、今回写真を用意できなかった方も含め、いずれまたこのテーマでお送りしたいと思います。
次回のWeekly Picturesは7/13(金)に開かれましたソフトボール大会です。お楽しみに。

(担当:松井)

Weekly Pictures

研究室の写真です。
普段の実験の様子から、みんなでイベントを楽しんでいる様子まで、
研究室の雰囲気が伝わるような写真を載せていきます。

こんにちは。今週の Weekly Pictures は、小林先生による第3回英語でしゃべらナイトの様子をお送りします。

家畜栄養学研究室では英語に慣れようという意味合いも含めて不定期で英語でのセミナー「英語でしゃべらナイト」を行っています。
発表はもちろん質疑するのも英語、応答するのも英語です。

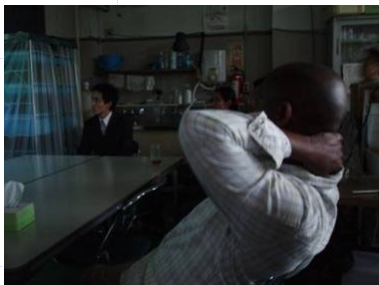
今回のセミナーは小林先生に6月末にスロベニアで開催される学会で紹介するテーマについて行っていただきました。
テーマは「*Fibrobacter succinogenes*の生理・生態について」



反芻動物(ウシ、ヒツジ、etc)のルーメン中ではさまざまな微生物による繊維分解が行われていますが、*F. succinogenes* はそれらの微生物の中でも繊維分解において大きな役割を担っていると考えられています。



家畜栄養学研究室では繊維質の消化性向上を目指して、この*F. succinogenes* という細菌についてもさまざまな研究をおこなってきました。
(詳しく知りたくなった2・3年生は気軽に研究室に質問に来てください。先輩たちが丁寧に説明してくれるはず。)



みんな真剣に聞いています。
発表が一通り終わると質疑応答の時間。中にはなかなか厳しい質問も・・・



セミナー後にはみんなで懇親会に出かけます。



今回はAschの奥さんのメロンさんもいらっしゃいました。

家畜栄養学研究室では普段のゼミでもパワーポイントによる発表を行い、先生方も交えての質疑応答を行うことで、日々、プレゼンテーションの技術向上に努めています。

現在3回行われたこの「英語でしゃべらナイト」は
第一回 小池先生 & Asch

第二回 真貝さん

第三回 小林先生

というような感じで行われており、そろそろ学生による発表が行われるかも・・・

(英語でのプレゼンテーションに慣れることが目的なので発表内容は必ずしも研究内容ではなくてもよいとのこと)

今回のWeekly pictureは写真の枚数が少なくて申し訳ないのですが、いかがでしたか？

次回の更新も楽しみに。
それではまた会う日まで。

担当:内堀

[BACK](#)

[TOP](#)

Weekly Pictures

研究室の写真です。
普段の実験の様子から、みんなでイベントを楽しんでいる様子まで、
研究室の雰囲気が伝わるような写真を載せていきます。

今回は、イベントではないのですが、本研究室で大活躍中の飼料添加物チームの
実験の様子をお伝えします。(写真うまいがよろしくないので、ご勘弁です)



ここは深暗い地下室、
通称ルシテック室。
全体像は、こんな感じです。



←発酵槽

8個の発酵槽(いれもの)があります。
中には飼料バッグ(ふくろ)とルーメン液がはいっています。
上の金属板に連結されており、自動的に上下することによって発酵槽内を攪拌します。
それぞれから出ているチューブはというと…



発生したガスも測ります(メタン)。温室効果ガスです。
願わくば、減って欲しいわけです。
ルシテックは地球温暖化防止に貢献してるんですね～。



コンピレー



飼料バッグを入れてるところ



バッグをモモミしているところ



ルシテックは24時間働かせるので、
定期的にサンプルを取って、化学分析します。



pH
(酸とアルカリの割合)



粘度
(そのままですね、ネバネバ度)

他にも分析項目はあります
(アンモニア、VFAなど)

と、ここまでですが、
「ルシテック」のこと、少しでもおわかりいただけたでしょうか？

簡単に言うと、次の2点に重点がかけられます。

- ①プロピオン酸が増えてほしい
- ②メタンが減ってほしい

また、ルーメン液の粘性の高さが原因と考えられている、
代謝障害の予防効果をみるために、粘度を測っているんです。

今回はルシテックチームの様子をお届けしました。
近々、微生物チームのほうも近況報告します。

(担当: たけだ)

Weekly Pictures

研究室の写真です。
普段の実験の様子から、みんなでイベントを楽しんでいる様子まで、
研究室の雰囲気を感じるような写真を載せていきます。

今週の Weekly Pictures は6/7~6/10に行われました、北海道大学の大学祭の様子をお送りします。
なおすべてのメンバーが写っているわけではありません。残念。



宴初日のお昼、また人もまばら。



徐々に人に人も集まり始める



人以外？



祭りの前に、一休み



散策開始
Moeさんたちのお店。



伝統料理の一つ



散策中
道中の一こま。すでに空の器。



一番北のステージにて。曲はまったく聞いてません。



鹿鍋に喰らいつく回。



夢中で



お店の方との記念撮影。



フレンチトーストをぽよぽよる回。



わたあめ作成中



⇒ 完成了ました。甘どうぞ



酪農の留学生の方との1枚。

というわけで、今回は大学祭の様子をお届けしましたがいかがでしたか？

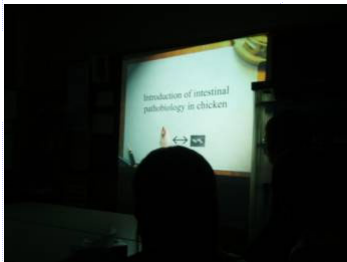
次回の更新もお楽しみに。
それではまた会う日まで

担当：坂井

Weekly Pictures

研究室の写真です。
普段の実験の様子から、みんなでイベントを楽しんでいる様子まで、
研究室の雰囲気を感じるような写真を載せていきます。

今週の Weekly Pictures は5/25に行われました。6月から米国イリノイ大学でお仕事をされる眞貝さんの壮行会をお送りします。
なお眞貝さんは6/6に渡米されました。



宴の前、眞貝さんにアメリカでの仕事内容を紹介していただきました。

つづいて



小林先生による思い出スライドショー(BGM付き)が披露されました。

乾杯



小林先生からご挨拶頂き、宴が始まりました。

花束&色紙贈呈



宴





メニューはシチュー、サラダ、フランスパンです。おいしかったです。

集合写真



最後にありますが真貝ご夫妻のご多幸とアメリカでの活躍を研究室一同心より願っております。

担当：松井

Weekly Pictures

研究室の写真です。
普段の実験の様子から、みんなでイベントを楽しんでいる様子まで、
研究室の雰囲気を感じるような写真を載せていきます。

こんにちは。今週の Weekly Pictures は畜産科学科の3年生の実習中におこなった羊の毛刈りの様子をお送りします。
栄養では5頭の羊を飼育していますが、気温も上がってきて羊たちも暑そう。
ということで、今回の3年生の実習では4頭の毛刈りを2回(5/18 & 5/25)にわけて手伝ってもらいました。



おなじみの年目おそろいツナギ
今年の3年生は「楽しいモーミン一家」
それでは、モーミン一家の皆さんご協力よろしくお願
いします



まずは、毛を刈るときに動かないように羊を倒して保
定してやります。



大きい羊は100kgオーバー。後ろで支えるのも一苦労
です。



毛刈りはまずお腹側の毛を刈ってやって、だんだん左
右にひらいていきます。



初めは、厚い毛でモコモコの羊たちですが…



モーミン一家の手によりみるみるうちにツルツルに
なっています



毛刈りに合わせて、1年間で伸びに伸びた蹄も切っ
てあげます。



こっちは羊は完成間近。最後に頭の回りの毛を刈っ
てやれば出来上がりです。



最初はこんなにケムクジャラだった羊たち…いったい
どうなったのでしょうか？

それでは、毛刈り後の羊たちの写真を協力してくれたモーミン一家の3年生達と一緒にどうぞ！

<カレン>

<つし>



左から
カツイクん、イトウくん、スガワラさん、セキネくん



イイサカさん、タケコシくん、イノウエくん、オオシロさん、スズキくん、カゲヤマさん

<たもつ>



ササキくん、ヨシダくん、ニシヤマさん、フクマくん

<ライリー>



ヤナガワさん、フジタさん

刈り取った羊たちの毛を量ってやると大体7~8kgぐらい。体重の約10%が毛だったということになります。重い毛を刈り取られて羊たちもすっきり！協力してくれたモーミン一家のみなさんありがとうございました。

というわけで、今回は羊の毛刈りの様子をお届けしましたがいかがでしたか？

次回の更新もお楽しみに。
それではまた会う日まで。

担当：内堀

[BACK](#)

[TOP](#)

Weekly Pictures

研究室の写真です。
普段の実験の様子から、みんなでイベントを楽しんでいる様子まで、
研究室の雰囲気が伝わるような写真を載せていきます。

速くなりましてすみません！！
今週の Weekly Pictures は5/16に中央食堂で行われました、畜産新歓コンパをお送りします。

1次会



司会の3人(3年生)は非常にインパクトのあるコスチュームでした



新2年生入場。



現学科長の島崎先生からの乾杯の挨拶です。
とくに今回は、最近某サークルで飲酒事故があったため、注意喚起がなされました。



2年生の自己紹介。こんな大勢だと、やっぱり緊張しますよね。



〈研究室紹介〉食肉



副生



改良



栄養(だれだ?)



畜牧

酪農



うち(栄養)と畜牧の4年生のショット。



仲良し二人組みと小林先生。



食肉に潜入。



畜牧に潜入。多田さんイジリ。



会を仕切ってくれた3年生。お疲れさんでした。

二次会@よしつね



じゃいってみよー



小林先生の挨拶から始まりました。2年生や3年生が非常に多く、全体的に若かったです。



貴重すぎる!!(畜牧上田先生と栄養小池先生)



山田先生もまだまだイケますよ～



福永先生がおかしくなっちゃいました



某女、本性あらわす



男と男の語り合いでしょうか



1次会、2次会ともに大いに盛り上がった新歓コンパでした。
幹事の3年生や、主役の2年生が積極的に参加してくれたからだと思います。

今後もいろんな行事に参加して学科全体を盛り上げていきましょう！！

ではでは。(担当 竹田)

Weekly Pictures

研究室の写真です。
普段の実験の様子から、みんなでイベントを楽しんでいる様子まで、
研究室の雰囲気を感じるような写真を載せていきます。

こんにちは、今週の Weekly Pictures は4月に行われた栄養新歓コンパの様子をお送りします。



今年の栄養の新歓はすすきの「世界の山ちゃん」
で行われました。

一次会はずまず小林先生に挨拶していただき、続いて
乾杯でスタートしました。



小林先生



小池先生



山野さん(D3)



上木さん(M2)



すーさん(M2)



竹田さん(M2)



Moeさん(M2)



奥平さん(M1)

今回は新歓ということで、先生方・先輩方から新入生に一言ずついただきました。みなさんこれからお世話になりますm(_ _)m



松井さん(M1)



坂井くん(4年)



渡部さん(4年)

今年の研究室の新入生は4人。それぞれが今後の抱負など熱く語っています。ここで簡単に新入生の紹介を。

松井さんは帯畜出身で大学院から北大にきました。大学ではホッケー部だったらしく北大にも数人知り合いがいるとのこと。体育会系のノリも分かる飲める男。すーさんと仲がよさそう。

坂井くんはお酒は飲めない九州男児。でも飲み会には欠かさず参加します。今回の新歓でコースケ・サカイを襲名。謎も多く小池先生の指導のもと今後の活躍が期待されます。

渡部さんは新入生唯一の女の子。なべちゃんのお愛称でおなじみ。お酒はあまり強くないとのことですが、実は(勝手に)飲めるんじゃないかと踏んでいる。アルハラにはご用心。

もう一人、残念ながら写真はないのですが4年生の内堀がいます。酒は飲んでも飲まれるな。



小林先生と新入生2人。松井さんナイススマイルです。



こちらは、長年の先輩後輩。研究室でも仲良しの二人。



先輩達も楽しそうに飲んでました。



一次会もひとしきり盛り上がったところ。



ぼちぼち締めます。みんな楽しく飲んだでしょうか？



お店を出たところで激写。山野さん19?cm
なべちゃん14?cm



その後、男たちは二次会へ。「しゃ～、行くぞ！」と言わんばかりの小池先生。



二次会はすぐそばの「根」。もちろん坂井くんもいます。それにしても、みんなよく飲めますね～。



小池さんはカメラを向けると最高の笑顔を見せてくれます。「肉最高！」。3人の温度差がたまりません。



熱く語る小池先生にたいして、坂井くん「はあ、まあ。」



こちらもなにかと仲良さげな2人。悪いこと考えてそう願っています。



二次会も終わり、締めはおなじみの「山岡家」。

といった感じで、研究室の新歓の様子をお送りしてきましたが、いかがでしたか？楽しんでいただけたでしょうか？
なにはともあれ、今年の栄養はこのメンバーで頑張っていきます！

次回の更新もお楽しみに。
それではまた会う日まで。

担当：内堀

[BACK](#)

[TOP](#)

Weekly Pictures

研究室の写真です。
普段の実験の様子から、みんなでイベントを楽しんでいる様子まで、
研究室の雰囲気が伝わるような写真を載せていきます。

お久しぶりです！今年初のWeekly Pictures 更新です。
長い間更新が滞っており、楽しみにしている方には本当に申し訳ありませんでした。
1発目の今回は、3月末に行われた卒業式の様子をお届けしたいと思います。



畜産科学科では、卒業式のあと卒業生たちが各講座を
回り歩いて教員陣や学生にあいさつをする慣わしがあります。
そこで毎年在校生が料理を作って卒業生に振舞うのですが、
今年栄養ではチーズフォンデュを作りました。
上はその写真ですが、なんとも彩り鮮やかでおいしそう！



それに加え、今回は小林先生に自宅からわざわざパン作り器を
持ってきていただき、手作りパンも振舞うことに。
パンはやはり焼きたてが断然おいしいですね。



さらに今日はスペシャルゲストの方々がいっています。
まー一人目は、Ashの奥さんであるMeronさん。
Moeさんと打ち解け楽しそうに話しています。



次にごちらは、なんと殿内さんの奥さんと娘さん！
お父さんの晴れ姿を見に来たのですが、
ちょっと見慣れない人達にとまどっている様子。



卒業生の方々か式を終えて戻ってきたのでひとまず乾杯！
卒業おめでとうございます！



ここで卒業生ひとりひとりに、小林先生から卒業(修了)證書の授与が行われました。
まずは博士課程を修了した真貝さんと殿内さん。
『ドクターはまだまだ仮免許なので、ここで満足せずにもますます研究に励んでください』と小林先生のお言葉。
おふたりのこれからの活躍を心からお祈りしています。



次に、修士課程を修了した後藤さん、中村さん、夫馬さんの3名。
研究室にはいつから3年、入学からでは6年という長かった大学生生活の最後です。
3人とも札幌を離れてしまうのですが、たまには顔だしにきてくださいね。



最後は学部4年生で大学を卒業する、大字くん、奥平さん、高津くん、安田さんの4名。ちなみにこの時大字くんはいろいろと手続きをするため役所についており写真がとれず。なにはともあれ卒業オメトウ！



その後、卒業生の方からひとりずつお話をいただきました。真貝さんは修士のころからこの研究室に所属し、今回の卒業生の中では最も長く5年間在籍していました。そのため思い出も多く、感慨深いようです。



中村さんは結局最期のこの時もマイベースな感じでした。でも最後はしっかり締める人で、先生方、在校生、卒業生みんなに向けてひと言残してくれました。



役所から帰還した大字くんがここで登場です。来ていきなりスピーチという状況にいささか戸惑い気味。



今回の卒業生の中では、唯一奥平さんが修士として大学に残ります。まだまだ残るので何を言えはいいのかわからないと、こちらも若干テンパってます。



この後、卒業生の講座巡りのため、栄養と入れ替わりでまず酪農科学の卒業生の皆さんがいらっしゃいました。こちらの卒業生は全員女子なのでとても華やかでした。なんかこれ見るとどっかのお正月の特番みたい。



次は家畜改良増殖学のみなさんがいらっしゃいました。こちらはさつきとは打って変わって全員男子です。皆これまでのところで結構飲んで(飲まされて?)きたようで、普段はあまり見られないようなハイな感じで新鮮でした。



お次は副生物利用学の皆さんです。こちらも先ほどと同じでかなり良い気分になっているようで。しかし、それはこちらのカメラマンも同じようで、この辺から写真のヒントがだんだんおかしいことに...



最後は畜産食品開発学と畜牧体系学が同時に来たため、両講座合同の大所帯に。写真中央に写っている男前は、畜牧4年の福島さんです。髪型もバッチリ決めて、下手な男よりもよっぽど似合ってます。



最後に農学部正面玄関前にて記念写真。
慣れ親しんだ学び舎ともこれでお別れ。
これから新しい環境にでも皆さんがんばってください！
では最後にもう一度、卒業おめでとうございます！！

今年最初のWeekly Pictures いかがだったでしょうか？
空白期間が長くなってしまい、また今年はいってからの開始が遅れたことは本当に申し訳ありませんでした。
しかし今回の更新を期にまたWeekly で研究室の様子をお届けしていきたいと思っておりますので、
これからも応援よろしくおねがいします！

担当: 上木

[BACK](#)

[TOP](#)